

報道関係各位

2018年10月31日

2019年3月期第2四半期決算(IFRS)を発表

- 国内需要が軟調の中、連結は微減収
- 第1四半期の厳しい事業環境により、事業利益が大幅減益、下期には通常レベルに回復を見込む

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は本日、2019年3月期第2四半期（上期）の決算を発表しました。

LIXIL グループ社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「上期の業績には、国内における自然災害の影響や新取引制度導入に伴う課題に加え、Permasteelisaの事業譲渡について米国当局からの承認が得られなかったという厳しい事業環境が反映されています。しかしながら、LIXIL グループは盤石な経営基盤を確立しております。新取引制度導入による費用増の影響は、第2四半期には終息し、下期にかけて効果的に浸透させていくことができると考えています。また、第1四半期の計画外の要因における利益減少分を補うため、継続的にコスト削減、販管費の抑制を進めていきます。

LIXIL Housing Technology(LHT)の事業の再建は優先事項として取り組んでおり、引き続き厳しい事業環境に直面しているものの、国内外において高価格帯の差別化商品の提供を開始するなど、明るい兆しが見えています。LIXIL Water Technology(LWT)事業に関しては、世界市場で水まわりのフルラインナップを提供できるよう、戦略を着実に実行しており、シナジーの最大化を通じて、さらなる成長につなげていきます。第3四半期には、業績は通常レベルに回復すると見込んでおり、競争力のあるコストを実現し、生産性を向上させるため、関連施策を強力に推進していきます」

決算の概要（第2四半期累計）

2019年3月期第2四半期の売上収益は、実質ベースで前年同期比 0.1%減の 8,882 億円となりました。

国内事業の売上は、主に新設住宅着工戸数の減少や、自然災害等の影響によりリフォーム需要が軟調に推移した影響を受け、前年同期から 23 億円の減収の 6,261 億円となりました。一方で、新設住宅着工戸数(1-6月)は前年同期比 4.9%減だったのに対し、国内の LWT 事業の売上は 0.1%増、LHT 事業は 2.5%減と善戦し、市場の水準を上回って推移しました。

海外事業の売上は、9 億円増加の 2,772 億円で、前年同期比 0.3%増となりました。中東および南アフリカでは厳しい状況が続いたものの、欧州地域では 3.0%の増収となりました。また、アジア太平洋および北米地域では先行投資が奏功し、増収となりました。

事業利益^{*1}は、前年同期比 269 億円減少し、138 億円となりました。特に事業利益は、第1四半期に、国内における新取引制度導入に関連して計画外の一過性費用が発生したことが影響しましたが、第2四半期にはその影響は終息しました。さらに、コスト削減および販管費の抑制を進めており、第1四半期と比較して第2四半期は、事業利益率が LHT を除き、全セグメントで改善しました。

一方、海外事業については、欧州および北米地域の利益率が、資材価格上昇によるコストの増加によって前年同期比で低下しました。コスト増加分は商品価格への転嫁を図るものの、上期は値上げの浸透を進めて

いる段階であり、利益の減少分をカバーするには至りませんでした。アジア太平洋地域では、ショールームの開設など成長投資が先行し、減益となりました。

当社の連結子会社である Permasteelisa の株式譲渡につき、対米外国投資委員会（CFIUS）から承認できない旨の通知を受領したことを受け、同社の会計処理および表示を非継続事業から継続事業に変更しました。この変更による事業利益への影響は-44 億円です。

第 2 四半期の四半期損失^{※2}は、事業利益の減少や上記の Permasteelisa の会計処理の変更による影響を受け、86 億円となりました。

なお、当社では、株主の方に中長期で株式を保有していただくことが望ましいと考え、2019 年 3 月期の 1 株当たり年間配当金は、前年比 5 円増の 70 円を予定しています。

※1 IFRS の事業利益は、日本会計基準（JGAAP）の営業利益に相当。

※2 親会社の所有者に帰属する四半期利益。

主要施策

- 水まわり分野の総合ソリューションプロバイダーを目指す戦略に基づき、北米、欧州、アジアの海外市場において、新商品・サービスを継続的に投入しています。北米市場向けの American Standard ブランドの温水洗浄便座シート（AC1.0 および AC2.0 SpaLet Bidet Toilet Seat）の提供や GROHE ブランドの衛生陶器コレクションのラインナップを拡充しました。上期において、商品シナジーと新規事業が LWT の海外事業の売上成長の 34% をけん引しました。
- LHT 事業に関しては、アジアの建材事業の強化に加え、技術力を活かした産業品分野の拡充に注力しています。第 2 四半期は、技術力とデザイン性を生かし、アジアでの需要を取り込むべく、ハイグレード窓サッシ「GRANTS」の提供を開始しました。
- 日本事業の生産性を向上させるための施策を継続的に推進しています。その一つとして、RPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）の導入を進めるため、社内のプロジェクトマネージャーや開発者を育成。2019 年 3 月期の目標 500 名に対し、第 2 四半期末時点で 473 名を RPA 開発可能人材として育成しました。
- サステナビリティを重視した事業戦略を推進しており、その取り組みが評価され、社会的責任投資の代表指数である

「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」、性別多様性の分野で優れた取り組みを行う日本企業を対象とした「MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）」、世界的な社会的責任投資指標である「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に 2 年連続で選定されました。加えて、グローバル環境株式指数「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」の構成銘柄にも採用されています。

2019 年 3 月期第 2 四半期 業績

（単位:億円）

| 売上収益 | 事業利益 | 事業利益率 |
|--|------------|-------------|
| LIXIL Water Technology (LWT) | | |
| 4,020 | 256 | 6.4% |
| (+1.4%) | (-27.2%) | (-2.5pt) |
| LIXIL Housing Technology (LHT) | | |
| 2,570 | 46 | 1.8% |
| (-3.1%) | (-72.9%) | (-4.6pt) |
| LIXIL Building Technology (LBT) | | |
| 1,303 | -37 | - |
| (-1.2%) | - | - |
| 流通・小売り事業 (D&R) | | |
| 878 | 47 | 5.4% |
| (0.4%) | (3.1%) | (+0.1pt) |
| 住宅・サービス事業等(H&S) | | |
| 262 | 14 | 5.2% |
| (+9.5%) | (+29.6%) | (+0.8pt) |

【関連資料】

>2019年3月期第2四半期決算
説明資料



>2019年3月期第2四半期決算短信

The image is a thumbnail of a financial statement summary document. It features the LIXIL logo and the title "2019年3月期第2四半期決算短信(2019年3月期第2四半期決算短信)". Below the title, there is a table with financial data. The table has columns for "項目" (Item), "2019年3月期第2四半期" (2019 Q2), "2019年3月期第1四半期" (2019 Q1), "2018年3月期第2四半期" (2018 Q2), and "2018年3月期第1四半期" (2018 Q1). The rows include "売上高" (Sales), "営業利益" (Operating Profit), "経常利益" (Regular Profit), and "純利益" (Net Profit).

| 項目 | 2019年3月期第2四半期 | 2019年3月期第1四半期 | 2018年3月期第2四半期 | 2018年3月期第1四半期 |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 売上高 | 1,120,000 | 1,050,000 | 1,050,000 | 1,000,000 |
| 営業利益 | 150,000 | 120,000 | 130,000 | 110,000 |
| 経常利益 | 140,000 | 110,000 | 120,000 | 100,000 |
| 純利益 | 130,000 | 100,000 | 110,000 | 90,000 |

■LIXILについて

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在70,000人超の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ（証券コード: 5938）は、2018年3月期に1兆6,648億円の連結売上高を計上しています。

LIXILについて：www.lixil.com/jp、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>